

科目名	精神疾患とその治療			担当教員	野村 香代
単位	1単位	講義区分	講義	ナンバリング	ED2SPS321
期待される学修成果	子ども理解 態度				
アクティブ・ラーニングの要素	ディスカッション、ディベート				
実務経験	臨床心理士、公認心理師				
実務経験を生かした授業内容	医療機関での勤務経験をもとに、精神疾患への対応に関する注意点や起こりうる問題に関しても説明を加える。				
到達目標及びテーマ	1.主要な精神疾患の定義、病態、診断分類（ICD-11/DSM-5-TR）を習得し、クライアントの困難を生物・心理・社会的（BPS）モデルの視点から多角的に理解できる。 2.精神疾患の治療薬が精神状態に及ぼす影響などの薬物療法全般に関する基礎知識を習得する。 3.家族の心理的負担や生活環境を理解して心理教育等の支援を行うとともに、医療・保健・福祉等の多職種と連携し、本人の日常生活の再構築やQOLの向上を包括的に支える視点を養う。				
授業の概要	本講義では、公認心理師に求められる精神医学的知識の習得と、多職種連携を基盤とした支援の実際を習得する。毎回の講義では特定の疾患を扱い、診断分類から具体的な支援のあり方までをパッケージとして包括的に学ぶ。具体的には、各疾患の病態理解に加え、精神疾患の治療薬が心身に与える影響、および本人・家族への心理教育のポイントを検討する。また、症状の改善のみならず、本人が望む日常生活の再構築に向けた多職種連携の実際について、心理職としての役割と限界を踏まえながら、実践的な視点から考察する。【デジタル技術利用 該当番号：①、③】				

授業計画	
第1回	イントロダクション 精神疾患とは
第2回	うつ病とは
第3回	双極性障害とは
第4回	統合失調症とは
第5回	強迫症とは
第6回	不安症とは
第7回	その他の精神疾患
第8回	講義のまとめと最終レポート

事前学修	2時間	教科書の該当領域を熟読し、概略を頭に入れておくこと。
事後学修	2時間	講義内容を振り返り、精神疾患に関する基礎知識や支援方法を整理すること
フィードバックの方法	①小テストを実施し、返却して現在の学習課題がわかるようにフィードバックする。 ②振り返りシートは、必要に応じてコメントした後に返却し、質問事項に関しては講義で解説を加える。	

成績評価方法		割合（％）	評価基準等
上記以外の試験・平常点評価		100%	①授業中/授業後レポート(20%)②小テスト(30%)③最終評価(50%)
定期試験		0%	実施しない
補足事項	公認心理師養成のためのカリキュラムとして組み込まれている科目であり、精神医学に関して専門的な内容を学ぶ講義である。精神疾患やその治療に関する正確な知識を十分に習得していることを、単位認定の重要な基準としているため、最終評価においては、これまでの講義内容を踏まえた専門的素養が一定の到達水準に達しているかを確認する。 講義日程は、前期の第1～8回目（前半）に実施する。		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
精神疾患とその治療 第2版	三村将・幸田のみ子・成本 迅・新村秀人 編	医歯薬出版	978-4-263-26685-4	4263266854
参考資料				